

2024年3月11日

保護者の皆様

聖ウルスラ学院英智小・中学校

校長 伊藤宣子

保護者の皆様の学校評価の集計結果について(報告)

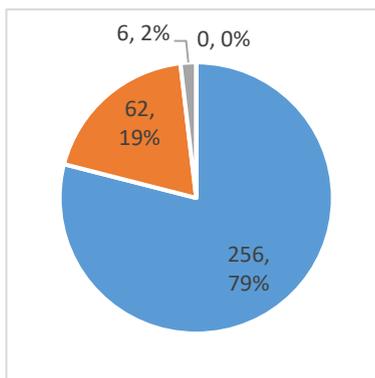
春情の候、保護者の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校の教育活動にご理解を賜り、感謝申し上げます。

先日は、保護者の皆様の学校評価に際し、ご協力いただきまして、ありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。集計の内容は多くの項目で、概ね「当てはまる」「少し当てはまる」という、プラスの評価をいただきました。しかし、一部、学校として改善を図ったほうがよいと思われる項目や詳しい分析結果をお伝えしたほうがよいと思われるものもありました。末尾に詳しく記述いたしましたので、ご覧になって、お子さまと学校やご家庭での生活について話題にしていただけますと幸いです。

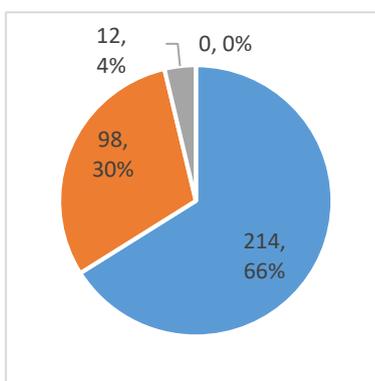
1. 本校の教育目的、教育目標について、保護者として共感している

当てはまる	256
少し当てはまる	62
あまり当てはまらない	6
当てはまらない	0



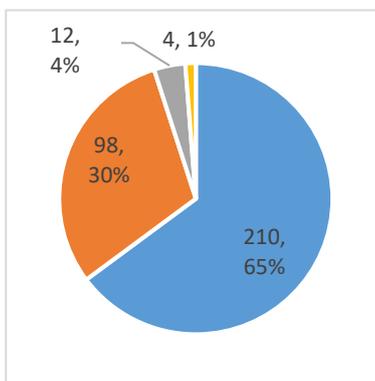
2. 学校は「力のつく元気な学校」である

当てはまる	214
少し当てはまる	98
あまり当てはまらない	12
当てはまらない	0



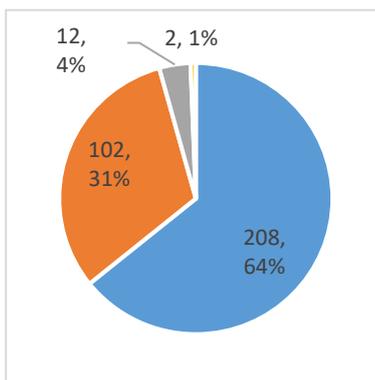
3. 学校は保護者と連携した教育に努めている

当てはまる	210
少し当てはまる	98
あまり当てはまらない	12
当てはまらない	4



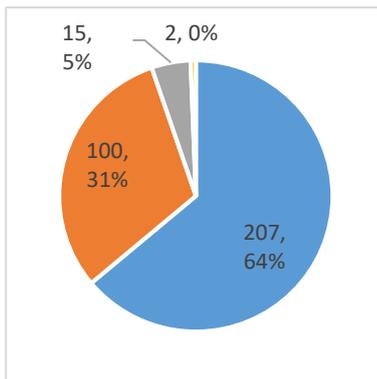
4. 学校は子どもの人権を大切にし、一人一人に応じた指導に努めている

当てはまる	208
少し当てはまる	102
あまり当てはまらない	12
当てはまらない	2



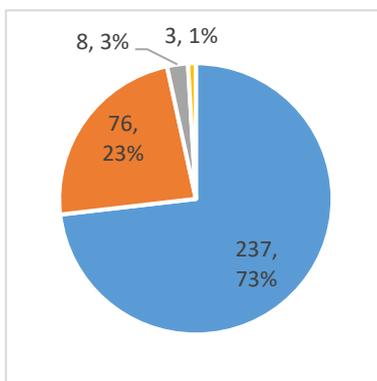
5. 学校は子どもの悩みや相談に対応し、解決に努めている

当てはまる	207
少し当てはまる	100
あまり当てはまらない	15
当てはまらない	2



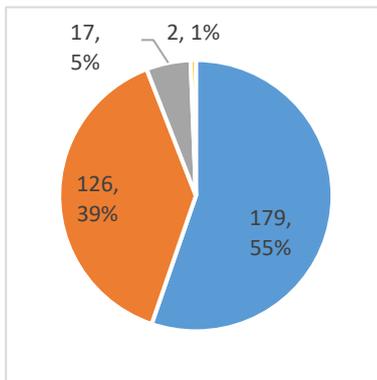
6. 学校は安全に配慮し、事故防止に努めている

当てはまる	237
少し当てはまる	76
あまり当てはまらない	8
当てはまらない	3



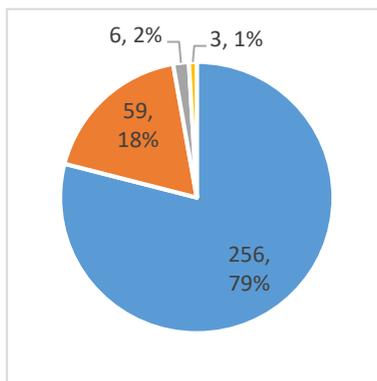
7. 学校はいじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる

当てはまる	179
少し当てはまる	126
あまり当てはまらない	17
当てはまらない	2



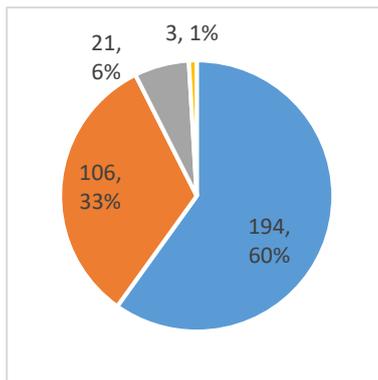
8. 学校は保護者からの問い合わせ、相談等の対応に努めている

当てはまる	256
少し当てはまる	59
あまり当てはまらない	6
当てはまらない	3



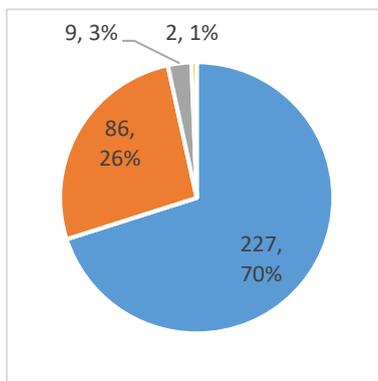
9. 学校は、学校だよりや各種のお便り、ホームページ、メールなどで、わかりやすい情報発信をしている

当てはまる	194
少し当てはまる	106
あまり当てはまらない	21
当てはまらない	3



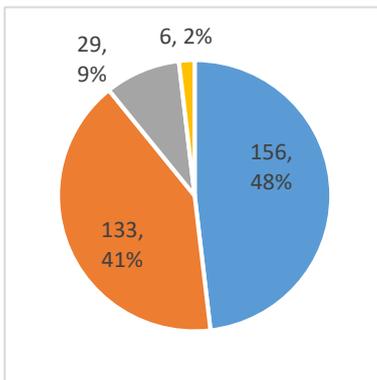
10. 学校は子どもの学力向上のための取り組みに努めている

当てはまる	227
少し当てはまる	86
あまり当てはまらない	9
当てはまらない	2



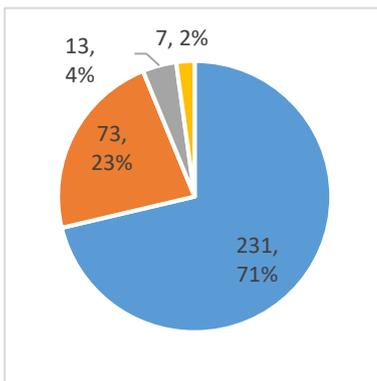
11. 子どもに学習内容が概ね定着していると感じる

当てはまる	156
少し当てはまる	133
あまり当てはまらない	29
当てはまらない	6



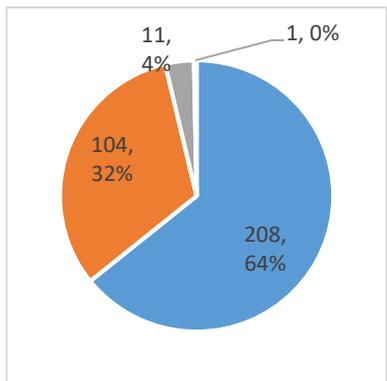
12. 子どもは前向きに学校生活を送っている

当てはまる	231
少し当てはまる	73
あまり当てはまらない	13
当てはまらない	7



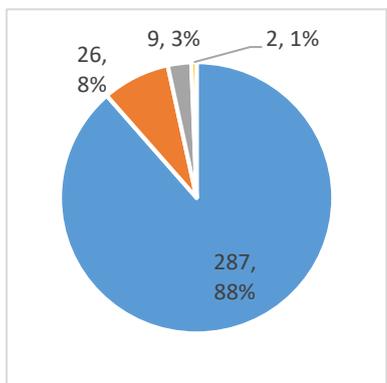
13. 子どもの交友関係は良好である

当てはまる	208
少し当てはまる	104
あまり当てはまらない	11
当てはまらない	1



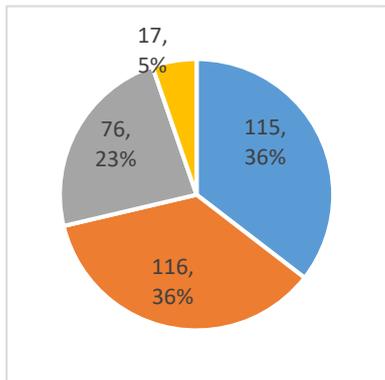
14. 子どもは朝ご飯を必ず食べる

当てはまる	287
少し当てはまる	26
あまり当てはまらない	9
当てはまらない	2



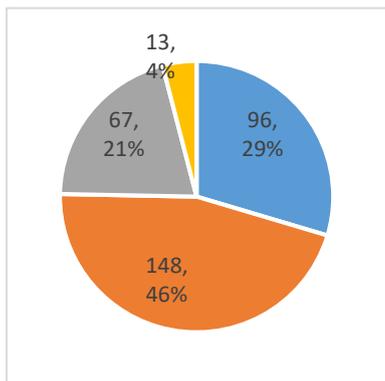
15. 子どもは睡眠を十分にとっている  
(目安の就寝時刻 1st ステージ 21 時 2nd ステージ 22 時 3rd ステージ 23 時)

当てはまる	115
少し当てはまる	116
あまり当てはまらない	76
当てはまらない	17



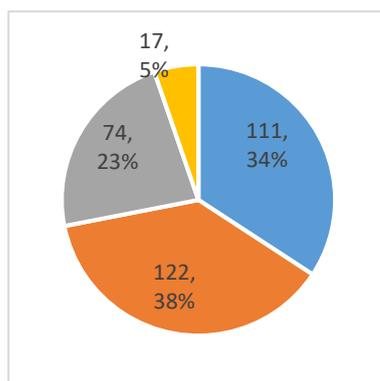
16. 子どもは家で手伝いをしている

当てはまる	96
少し当てはまる	148
あまり当てはまらない	67
当てはまらない	13



17. 子どもは家庭で毎日欠かさず集中して勉強している(学年×15分)

当てはまる	111
少し当てはまる	122
あまり当てはまらない	74
当てはまらない	17



## 設問11 子どもに学習内容が概ね定着していると感じる

「あまり当てはまらない」「当てはまらない」を合わせて11%です。今回は特に、3年生(15%)、6年生(13%)、7年生(27%)でこの割合が高い結果となりました。前回18%と割合の高かった9年生は、半分の9%に落ち着いています。これは決して低い値とは言えませんが、義務教育課程を修了する9年生が、高校への進学に向けて、小中学校の学びの集大成としての勉強に真剣に取り組んだ結果と分析できます。一方、6年生に関しては、進級到達度テストを控えて勉強する中で、学習不足の部分が見えてきたのかもしれませんが。3年生はほぼ横ばいの数値でした。学年末を迎え、学校ではいずれの学年も、今年度中に習得すべき学習内容の総まとめをしております。ご家庭でも、教科書、ノート、問題集、プリント等を利用して4月からの学習を全て復習し、理解不十分の部分は繰り返し問題に挑戦して克服できるよう声がけしていきます。個々の授業の改善に向けては、学校で責任をもって、より一層の教員の指導力向上を図ってまいります。

## 設問15 子どもは睡眠を十分にとっている

(就寝時刻 1stステージ21時 2ndステージ22時 3rdステージ23時)

「あまり当てはまらない」「当てはまらない」を合わせて、28%に上ります。特に、4年生と7年生の割合が高くなっています。遠距離通学で登下校の時間が長い、塾や習い事があり、その後に家庭学習をする、SNSやゲームなどに時間を費やしてしまう、など、様々な要因が考えられます。適度な睡眠は、特に低学年のお子さんにとって成長のために大切なものです。また、睡眠時間が確保できずにいると、子どもたちは疲労がたまり、いろいろな活動に前向きに参加できないこともあります。就寝時刻からさかのぼって下校後の時間の使い方を決める、一日の限られた時間の中で行うことの優先順位を決めるなど、一度ご家庭で、下校後の時間の使い方について、親子でお話ししていただくことも、よいことと思います。学校でも、宿題や課題が日によって偏らないようにするなどの対応を今後とも続けてまいります。

## 設問16 子どもは家で手伝いをしている

「あまり当てはまらない」「当てはまらない」を合わせて、25%です。およそ4分の一のご家庭で、お子さんたちが手伝いをしていない、その割合は学年が上がるごとに増えていくことがわかります。家事について、大人がやってしまったほうが早いと思ってしまうこともあるかと思います。また、学年が上がると、学習や部活で忙しく手伝いまでできない、といったこともあるでしょう。しかし、手伝いをするから一歩踏み出して、「家庭で自分の役割を持つ」ことは、お子さんが家族の一員として確たる場所にいるためにも大切なことです。小さいうちから発達段階に合わせて、お子さんにあった役割を与えていくようにしてはいかがでしょうか。

## 設問17 子どもは家庭で毎日欠かさず集中して勉強している(学年×15分)

「あまり当てはまらない」「当てはまらない」を合わせて28%になりました。「毎日欠かさず」「集中して」と二つのポイントがあるため、どちらか一方が十分ではないと判断されたご家庭もあったかと思います。どちらも重要なことではありますが、状況により「毎日欠かさず」「学年×15分」できない場合は、短い時間であっても「集中して」学習に取り組むことが重要です。設問11に関連して、学習内容の定着が不十分である学年は、この設問の評価が低い傾向にあります。毎日の集中した学習の積み上げが学力定着の力となります。学年のまとめのこの時期、次の学年の学習がスムーズに始められるよう、家庭学習の環境づくりにご協力をお願いいたします。